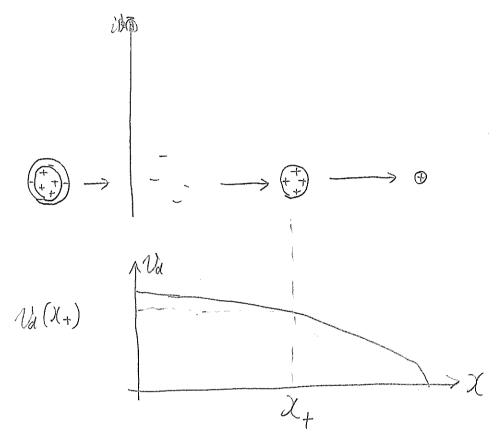
Hybrid Senario of Chandrule Heating.

abstract. 自発電荷分離している水が入りが打撃は面ん空入し、 昇華する時、表層の負電方が剥離し、正電荷で帯した 粒子が、プラスマ中で和対値度でも、て圧動なり状態が 生しない、でいか起電力とカップ、静電環が生じる。



本来は、外の昇華加熱と固銀フラススの発展と同時に解く必事がよるが、ままりは当ちからから、かみりの意面負売高層が全て剥離し分れの帯電が最大となる地点は一半での正電かき見積る。

称入り数密度さ $M_d(x)$, か入りかのできる $9_d(x)$ なると、 タストが 担うでに気は、 $J_d = 9_d(x) M_d(x) U_d(x) = 9_d(x) M_d(x) U_d(x)$

一方フラズマが担う電流は、 $J_p = UE'$ ここで $U = \frac{n_e l_{Mb} e^2}{m_e V_e}$ はプラズマの resistivity ですり、 F' はプラスマ 静上系の 静電場である。

プラズマ内ので荷中性発行のため、

$$div\left(J_d+J_p\right)=0$$

 $div\left(J_d+J_p\right)=0$
 $J=J_d+J_p=c$. Co3か,衝撃版面上流切ね $J=07$ で
 23 ため、 $C=0$

(+15,7, J,+ Jp=0.

静色被控放起生络件D, H, |F'| ≥ Enit = de ling

Qはひグラナルを子の効果、Q=10とな

MMSN. model. R=27 an 70 to Estritos

$$P_{ice}(0) = \frac{\sum_{ice}}{h} = 8 \times 10^{-12} \, g_{cm^3}, P_{ice}(x) = \frac{N_{d}(x)}{M_{d}(0)} P_{ice}(0)$$

ダストのフラクタル以えて考慮した実効的厚み のice [cm] 一単位がス体理中の - ガストかよらはな のは

Och = 30 [esu/cm2] が2kの意面帯電

Pm,ice= 1.0[9/cn3] 洮n畅赞密度

以上的了。

and (x) = Och Pice Ma(x) [esn/am3]

Aire Price Nalo)

 $M_{e} = (1.9 \times 10^{-27})$ $V_{e} = 5 \times 10 \text{ cm G}$ $e_{e} = 10^{12.5} [\frac{e_{su}}{c_{m3}}]$

を作み切と

$$V_d(x) \ge \frac{M_d(0)}{N_d(x)} \cdot \left(7.2 \times 10^3 \text{ cm/s}\right) \cdot \left(\frac{\alpha_{ice}}{10_{mm}}\right)$$

直接の式 Na(a) Va(x)= N(0) Va(0) E和用 あて、

 $\mathbb{D} \Rightarrow V_{a}(0) \geq 7.2 \times 10^{3} \, \text{cm/s} \cdot \left(\frac{\Omega_{10}}{10 \, \text{µm}} \right)$